

議会改革度調査2022都道府県部門 茨城県議会は2年連続で第1位に輝きました

令和3年3月に設置された茨城県議会改革推進会議の第一次答申を踏まえ、議会改革を進めている茨城県議会は、令和5年3月に発表された早稲田大学マニフェスト研究所が実施する「議会改革度調査2022」(速報)において、47都道府県議会の中で、2年連続で第1位となりました(市区町村を含めた全議会においても第3位です)。

県民の皆様視点に立ち、議会改革を積極的に進めてきたことが評価されたものであり、今回の結果を糧とし、今後とも、県民の皆様のため、後世に「あの時代があったからこそ今の繁栄がある」と実感してもらえる、持続可能な茨城づくりを目指して取り組んでまいります。

茨城県議会の議会改革の主な取り組み

情報共有

- ・県議会ホームページで常任委員会などの資料を事前に公表
- ・常任委員会の出前委員会を開催

住民参画

- ・2年連続で休日議会を開催
- ・包括連携協定を締結している大学の学生との意見交換を実施
- ・県議会モニター制度(県議会の活動や広報に反映させることを目的に、県民から意見聴取や情報収集などを行う制度)による意見聴取を実施

機能強化

- ・議員提案による政策条例の制定(茨城県犯罪被害者等支援条例、茨城県小規模企業振興条例、茨城県性暴力の根絶を目指す条例、いばらきの豊かな緑を守り育て適正に管理するための条例)
- ・オンライン委員会を実施
- ・決算特別委員会の審査方法を見直し
- ・流通経済大学と包括連携協定を新たに締結(ほかに、茨城大学・常磐大学・常磐短期大学と締結)



常磐大学のシンポジウムにおける石井邦一議長講演の様子(令和5年1月22日(日))



常磐大学における出前委員会の様子(令和4年10月13日(木))



傍聴席がほぼ満席となった休日議会の様子(令和4年6月11日(土))



オンライン委員会の様子(令和4年10月21日(金))

議員提案政策条例の成果をご紹介します

茨城県議会では、これまで24の政策条例を議員提案で制定し、直近5年間(平成29年度～令和3年度)における制定数は9条例で、全国第2位となっています。そのうち、近年制定された3条例について、制定後の主な成果を紹介します。

制定された議員提案政策条例全体の主な成果はこちらからご覧いただくことができます。▶
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/>



茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例(平成28年第4回定例会で議決)

- ・本県は、平成17年度から平成24年度まで8年連続で犬の殺処分頭数が全国ワースト1位
- ・「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」を定め、県民が犬猫と共に幸せに暮らせる社会の実現に向けて、関係団体および市町村等と連携を深めながら新たな施策を展開
- ・令和元年度から令和3年度は、譲渡適性*がある判断した犬猫殺処分頭数が0頭

*【譲渡適性】…不治の病や攻撃性の有無などを、県が策定したガイドラインに基づき判断したもの

[本県の犬猫殺処分頭数] (収容中死亡を含む。) (頭)

	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
犬殺処分頭数	1,279	612	338	235 (18)	144 (0)	40 (0)	37 (0)
猫殺処分頭数	2,333	1,679	375	211 (0)	424 (0)	358 (0)	201 (0)
合計殺処分頭数	3,612	2,291	713	446 (18)	568 (0)	398 (0)	238 (0)

* ()は、殺処分頭数のうち譲渡適性があるもの
* 令和2年度以降は、中核市の水戸市を含む。

茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例(令和2年第4回定例会で議決)

- ・令和3年度に、平常時からあらかじめ災害ボランティアの登録を行う「茨城県災害ボランティア登録制度」を整備
- ・令和3年度から「災害ボランティア活動支援基金」を設置し、令和5年3月末までに約4,000万円の寄附があり、災害ボランティアによる被災者支援活動の円滑化などに直結する事業に対して助成
- ・令和3年度に、ICTを活用し、災害ボランティアセンターの運営を効率化するシステム「いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム(IVOS)」を構築し、令和4年度に関係機関職員向けに操作研修を開催

[災害ボランティア活動支援基金への寄附額] (千円)

区分	R 3	R 4 (3月末時点)	合計
個人	6,194	5,484	11,678
法人・団体	13,402	14,552	27,954
合計	19,596	20,035	39,632

*千円未満を四捨五入しております。
*四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しません。

茨城県ケアラー・ヤングケアラーを支援し、共に生きやすい社会を実現するための条例(令和3年第4回定例会で議決)

- ・令和4年4月から7月までにかけてケアラー・ヤングケアラーの実態調査を実施し、同年11月に結果を公表
- ・令和4年10月に認定特定非営利活動法人カタリバとヤングケアラーおよびその保護者に対しオンラインで伴走支援を行う支援プログラムに係る連携協定を締結
- ・ヤングケアラーに関する理解と自身に支援が必要であるという認識の促進を図るため、学校現場において児童生徒にリーフレットを配布し説明

[ヤングケアラー実態調査の結果]
○「世話をしている家族がいる」と回答した児童・生徒の割合 (%)

区分	小学6年生	中学生	全日制高校生
本県調査	9.6	4.5	3.6
国調査	6.5	5.7	4.1

第2回定例会中の6月17日(土)に「休日議会～縁joyツアー～」を開催します

県民の皆様と県議会を身近で親しみやすく感じていただき、議会活動への理解と参画を推進するため、6月17日(土)に「休日議会～縁joyツアー～」を開催いたします。3度目となる今回の休日議会では、常任委員会においてさまざまな分野の県民の皆様と意見交換を行い、議会における議論や政策に反映させてまいりたいと考えております。

また、茨城県警察音楽隊による議事堂内でのコンサートや、普段は見ることがない議事堂バックヤードツアーも実施する予定です。詳細は後日、茨城県議会ホームページでお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。



茨城県議会のホームページはこちら▶

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

